

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第479号 平成24年11月



『いちよう並木』 真鍋 勉

目 次

	頁		頁
1) 感染症だより	西多摩保健所 … 2	6) 学術部インフォメーション	学術部 … 6
2) 第14回会館建設準備委員会報告	小机敏昭 … 3	7) 専門医に学ぶ	津村豊明 … 8
3) 都道府県紹介	阿部英雄 … 4	8) 理事会報告	広報部 … 10
4) 連載企画 「ムカデ騒動」	松本 学 … 5	9) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 13
5) 広報だより 無力感	渡邊哲哉 … 6	10) 表紙のことば	真鍋 勉 … 17
		11) お知らせ	事務局 … 17
		12) あとがき	馬場真澄 … 18

感染症だより

〈全数報告〉

第38週(9.17-9.23)から第41週(10.8-10.14)の間に、管内医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 2件(結核性胸膜炎 1件、結核性リンパ節炎 1件)

(三類感染症) なし

(四類感染症) なし

(五類感染症) アメーバ赤痢 1件、破傷風 1件

〈管内の定点からの報告〉

	38週	39週	40週	41週
	9.17～9.23	9.24～9.30	10.1～10.7	10.8～10.14
RSウイルス感染症	3	9	16	4
インフルエンザ	2			
咽頭結膜熱	2		7	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	2	6
感染性胃腸炎	16	29	27	16
水痘	4	1	4	1
手足口病		1	1	
伝染性紅斑				
突発性発しん	2		1	1
百日咳				
ヘルパンギーナ	1	2	1	1
流行性耳下腺炎	2	3	1	1
不明発疹症				
MCLS				
急性出血性結膜炎				
流行性角結膜炎				
合 計	40	49	60	32

基幹定点報告対象疾病〈細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病を除く)〉

報告はありませんでした。

〈コメント〉

① RSウイルス感染症患者が増加しています。

都内での患者数が急増しており、東京都は9月13日にプレス発表で注意を喚起しました。第40週の定点当たり報告数は都内では2.19人、管内では2.00人と過去5年間の同時期と比較してかなり多くなっています。定点当たり報告数は、第41週は都内、管内とも低下していますが、過去5年間では年末まで多い傾向のため、引き続き注意が必要です。

② 風しん患者が増加しています。

風しんは、都内での患者数が急増しており、都は6月14日と7月12日に注意を喚起しています。2008年の全数届出以降、2008年は46件、2009年は19件、2010年は15件、2011年は32件でしたが、2012年は41週時点の患者報告数は456件と最も多くなっています。流行の中心は予防接種歴のない20～40代の男性です。管内では、第1週から41週までの患者報告数は1件です。

③ その他

マイコプラズマ肺炎（基幹定点報告疾患）は、管内からは第 38～41 週の報告はありませんでしたが、定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期と比較して全国的にはかなり多く、都内でも 2011 年と同様に多くなっています。

インフルエンザについて、東京都健康安全研究センターはインフルエンザ情報第 3 号（東京都健康安全研究センター内の感染症情報センターホームページに掲載）を発行しました。

第 38～41 週の患者報告数は、管内では 2 人です。都内では第 41 週の定点当たり報告数は 0.04 人です。

全国的には、AH3 亜型と AH1pdm09 亜型がみられ、沖縄県では第 40 週の定点当たり報告数が 4.41 人と流行の目安となる 1 人を超えています。

感染性胃腸炎、A 群溶連菌感染症、水痘は、過去 5 年間の同時期と比較すると、今後、増加してくる疾患です。

文責：東京都西多摩保健所保健対策課

第 14 回会館建設準備委員会報告

会館建設準備委員会
委員長 小机敏昭

日時：平成 24 年 8 月 29 日（水） 午後 7 時 45 分～9 時

場所：西多摩医師会館

出席委員：松原、真鍋、野本、山川、田坂、小林、田原、小机

欠席委員：西村、川辺、蓼沼（敬称略）

第 12 回、13 回委員会で検討した新医師会館「基本設計」の改善事項を図面上変更して提出された 2 社の平面図（第 1 案・第 2 案）につき、慎重に検討いたしました。

第 1 案では、建物本体の配置を西側の道路から正面に見える位置に変更、建物玄関前が広々とし、駐車場が前庭に 16 台分はとれる形で、保健所（予定地）からの通路もゆったり取れる配置となりました。

第 2 案は、前回の提案と同じく敷地の南側に建物を配置し、玄関を北側に設置したもので、西側道路から建物の側面が見える形で、駐車場が建物正面と東側に L（エル）字形となる設計でした。

十分な審議の中で、各委員の意見は「第 1 案の方が使いやすく、見栄えがする形である」が多数をしめました。

採決の結果、第 1 案 7 票、第 2 案 1 票となり、第 1 案の基本設計を採用することになりました。第 1 案の提案者は「松村茂睡建築設計室（あきる野市五日市 347、一級建築士 松村茂夫氏）で、この設計室と「設計監理業務」の契約をすることに決定いたしました。

以上、ご報告いたします。

都道府県紹介



第5回 岩手県

あきる野市 あべクリニック 阿部 英雄

2012年7月に旧秋山医院を継承し「あべクリニック」として新規開院させていただきました。今回、西多摩医師会から「岩手県の紹介」を書いていただけないかとお話があり、筆を執らせていただきました。

私は岩手県釜石市で生まれました。釜石市は、北は宮古市、南は大船渡市、西は遠野市に囲まれ、リアス式海岸のほぼ中央にあります。豊かな漁場に恵まれ、うに・いくら・ホタテ・わかめなど海産物が豊富です。「三陸海宝漬」で有名な「中村家」は駅のそばにあり、ここの料理長は「料理の鉄人」で中華の陳建一さんに挑戦したこともあります。ラグビーの町でも知られ、新日鉄釜石ラグビー部は正月の日本選手権で7連覇という輝かしい成績を残しています。こちらは「北の鉄人」ですね。ちなみに私は7年連続で国立競技場のスタンドで応援していました。

観光スポットといえば「釜石大観音」でしょうか。約50mの観音様が釜石港を見下ろす半島の先端にそびえ立っている姿は壮大です。

宮古市は釜石市以上に漁業が盛んです。代表的な景勝地といえば「浄土ヶ浜」ですね。鋭くとがった岩々が林立しており、松の緑・岩肌の白・海の青とのコントラストは一見の価値があります。

大船渡市は「かもめの玉子」でしょうか。今では東京駅や都内のデパートでも見かけるようになりましたが、「ミニかもめの玉子」は一口サイズで食べやすくお土産の定番にもなっています。

遠野市は「民話のふるさと」とも言われています。「河童」「座敷童」「曲り家」など昔

話によく登場しますね。食の代表格は「ジンギスカン」でしょう。「一家に一台ジンギスカン鍋」というぐらいポピュラーな食べ物です。羊肉にはダイエット効果もあり健康には良さそうですね。「わさび」も有名で東北一の生産量を誇ると言われています。

三陸中心に紹介してきましたが、県庁所在地の盛岡市は「わんこそば」「冷麺」「じゃじゃ麺」などの麺類がどれも美味しいです。「あさ開」「菊の司」など地酒も豊富です。

他にも平泉の「中尊寺」は最近、世界遺産にも登録されました。「前沢牛」も絶品です。

まだ紹介しきれない名所・名産品がたくさんありますが、機会があれば岩手にも是非足を運んでください。

最後に、今年のお盆休みに釜石から宮城県松島まで沿岸線を車を走らせる機会がありました。途中、陸前高田市の「奇跡の一本松」も見学できました。震災を受けた町々の悲惨な状況を目にし、復興にはほど遠い現状に悲しくなりました。1日でも早い復興・復旧を願っております。

「がんばっべし、岩手県！」



連載企画



「ムカデ騒動」

あきる野市 まつもと耳鼻咽喉科 松本 学

9月のある日、寝ていたら耳の中に何かが入ったと朝一番でお婆さんが受診されました。痛みはないがガサゴソと動いている感じというので、「何でしょうね。虫が入ったのかな?」と話しながら耳を診てみると耳垢がつまっています。顕微鏡で確認しても虫の姿はどこにもありません。「耳垢がつまっているけど虫はいないみたいですよ。耳垢がガサガサいっていたのかもしれませんがね。」と話して、耳垢を少し軟化させて鉗子で引っ張るとスポッと気持ち良く大きな耳垢が取れました。「すごい塊が取れましたよ。」と言ってももう一度顕微鏡をのぞくと、まだ黒い塊が見えました。「あれ、まだ残っていますね。……ウワッ!」思わず声が出てしまいました。外耳道の深部で、多数の足を持った生物がゆっくりと動いているのです。外耳道異物の昆虫はキシロカイン等で不動化させて除去するのですが、こちらをあわててしまい思わず吸引管で吸引したところ、幸運なことに吸引除去することができました。「こんなものが入っていました。」とお婆さんに見せると、「ガサゴソいわなくなった。」と冷静に一言。付添いの家族に見せると、「こりゃムカデだ。」と見慣れているのか興奮している私とスタッフを尻目に、それほど驚いた様子もありません。鼓膜穿孔や外耳道に噛まれた痕跡はなさそうでしたが、ムカデは毒を持っているので後で何か症状があったら再診するように話してお帰りいただきました。その後は受診されていないので、おそらく何事もなかったのでしょう。ムカデ毒は、生命を脅かすような毒性はないもののアナフィラキシーショックを起こす場合もあり、耳鼻科領域ではめまい、感音難聴、顔面神経麻痺をきたした例も報告されています。

少し興味がわいたのでムカデについて調べ

てみました。ムカデとは多足亜門ムカデ綱に属する節足動物の総称で、脚の数が多く運動性に富む捕食性の虫。肉食で小動物を捕食し、体長は5mmから大きいものだと20cm程度のものでいるとの事。実際に20cmのムカデを見たら卒倒してしまいそうです。

ムカデの体は頭と毒腺のある顎、それに続く胴体(体節)から成り、ひとつの体節から一对の歩肢(本数では2倍になる)が生えていて、体節は10数節から多いものでは170節以上のものまでいるそうです。ムカデは漢字で百足とも書きますが、これは中国語表記で当て字のようです。英語では centipede といい、この語源もラテン語で「百本の足」という意味だそうですから、数えきれないくらいたくさんあることを「百」であらわしたのででしょうか。ただムカデの歩肢対の数は必ず奇数であるため、100本足のムカデは存在しないはずとの事です。興味のある方はムカデを捕まえて足の数を数えてみてはいかがでしょうか。

ムカデは「狭い」「暗い」「湿り気のある」「餌となる虫がいる」条件下で暮らすそうです。耳垢を餌と考えれば外耳道はこの条件にぴったり当てはまるので、ムカデが侵入するものなずけるなと思わず納得してしまいました。

このムカデ騒動のあった翌日、スタッフが流し台で洗い物をしていて突然叫び声をあげました。何事かと行ってみると、流し台に昨日見たのと種類も大きさも同じくらいのムカデが……。「ムカデはつがいで行動するので一匹を殺すともう一匹が必ず現れる」という俗説もあるそうで、思わずゾッとしてしまいました。これは一匹現れるような環境では自然と他の個体も出現しやすいということだそうですが、仲間の復讐に現れたのでは?などとあれこれ想像してしまいました。

広報だより



無力感

羽村市 ワタナベ整形外科 渡邊 哲哉

その患者さんは50代後半の女性で、市の検診で骨密度が低下しているという結果が出たので、再度調べてほしいと言って来院した。特に腰痛などの症状は無いが閉経が早かったらしく骨密度の低下だけが心配だった。骨密度を調べたところYAM（若年成人平均値）73%だった。70%未満が骨粗鬆症であるが骨量減少の領域であると告げた。その患者さんの母親も話の内容から骨粗鬆症らしかった。骨代謝マーカーを調べてみることにした。骨吸収マーカーが基準値を超えていた。母親が骨粗鬆症であることを考慮すると、今後比較的早期に骨粗鬆症になる可能性大だと思われた。患者さんに骨質を改善することが現時点から必要であるという事を説明した。治療は食事からカルシウムをしっかり摂っていただくことと、適度な運動を基本とするが、内服薬を用いることが有効であることを説明した。骨折しないような骨にしていくことが治療の目的であることを確認した。骨粗鬆症薬には幾つかの種類薬があるが、比較的まだ若いのでSERM（選択的エストロゲン受容体モジュレーター）を勧めた。その患者さんはその薬の内服を始めることになった。3ヶ月後に再度骨代謝マーカーを測定した。骨吸収

マーカーは有意に低下を示しており、薬の内服が有効であることを示した。その翌月、再度骨密度を測定した。腰椎、大腿骨ともさほど変化は見られなかった。この時点で骨密度の変化が無いことに特にマイナス要因は無いことを告げた。さらにSERMは骨密度を上げる薬というよりは骨の質を改善していく薬なのでそれほど急に骨密度が上がらなくても特に問題ではないので、今後骨密度が少しずつ上がれば良いのではないのでしょうかと話した。最終的に将来骨折しない骨を作ることが大切ですと論じた。患者さんは骨密度が上がらない事に不満そうであった。そして、あれこれ説明している私をさえぎるようにこう言った。先日、ある週刊誌を読んでいたら骨粗鬆症についての記事が載っていた。読み進んでいくと最後にこう書いてあったと言った。「よい医者は薬なんか出さないって書いてありました！」……言葉が失った。週刊誌の恐ろしさを痛感し現在の骨粗鬆症治療を全否定して、あたかも薬に頼らない医療が最良であるがごとの記事は読者にとって聞こえは良いだろう。この患者に理解を促すにはもはや成す術は無かった。



学術部

Information



西多摩医師会学術講演会

9月28日（金）に西多摩医師会学術講演会として青梅市立総合病院会議室に於いて東京医科歯科大学脳神経外科講師の前原健寿先生が「てんかんの診断と最新の治療－抗てんかん薬の使い方から運転免許まで－」というテーマで講演されました。講演ではてんかんの診断と副作用の少ない新しい抗てんかん薬の使い方を含めた薬物療法について、さらに外科治療などの非薬物療法について解りやすくお話されました。講演の要旨を以下に掲載させていただきます。

（学術部 江本 浩）

『てんかんの診断と最新の治療』

—抗てんかん薬の使い方から運転免許まで—

東京医科歯科大学 脳神経外科 前原 健寿

てんかんは、本邦では約 100 万人の患者がいる common disease です。適正に診断され、発作型に応じた薬剤を選択することで 2/3 の患者では症状をコントロールすることができます。また最近 5 年間で副作用の少ない新規抗てんかん薬が登場したことで、治療の選択肢が広がってきました。

しかし、1/3 の患者は抗てんかん薬に抵抗性の難治性てんかん患者です。発作が発作を誘発する進行性の病気で、外科治療、迷走神経刺激療法の適応も考慮する必要があります。適切な 2 剤の抗てんかん薬に抵抗性の場合や 2 年以上、発作がコントロールされない場合には、必要に応じて専門医に相談を考慮すべきです。

今回の講演会ではてんかんの診断からはじまり、正しくて上手な抗てんかん薬の使い方を説明しようと思います。また側頭葉てんかんに対する外科治療や、難治性てんかん患者に対する脳梁離断術や迷走神経刺激療法も紹介し、最近話題になっているてんかんと運転免許の問題についても解説する予定です。

学術講演会の予定

11. 14 (水)	19:30 ～ 21:00	青梅市立 総合病院 南棟 3 階講堂	(費用負担なし)	1	13, 73	第 9 回西多摩高血圧 カンファレンス 「青梅市特定健診検査結 果」～ eGFR 平成 20、 23 両年度の比較 「CKD 診療ガイド 2012 改訂のポイント」	野本医院 野本正嗣先生 埼玉医科大学 腎臓内科 教授 鈴木洋道先生	ノバルティス ファーマ
11. 17 (土)	14:00 ～	羽村市 コミュニティ センター	西多摩医師会			市民健康講座 「救急外来の上手な利 用の仕方」 1. 小児救急について 2. 救急一般について	公立福生病院 小児科 松山 健 先生 青梅市立総合病院 救急科 肥留川 賢一 先生	
11. 20 (火)	19:15 ～ 20:30	ゆとろぎ	(費用負担なし)	1	2, 61	臨床医が知っておくべ き整形外科の知識	日本大学医学部附属板橋 病院 整形外科 主任教授 徳橋泰明先生	アステラス 西多摩医師会
11. 21 (水)	19:30 ～	青梅市立 総合病院 南棟 3 階講堂	(費用負担なし)	1	18, 27	C 型肝炎の新しい治療	青梅市立総合病院 消化器内科 部長 野口 修先生	MSD 西多摩医師会
11. 22 (木)	19:15 ～ 21:10	フォレストイン 昭和館	(費用負担なし)			西多摩地区糖尿病と合 併症予防の為の講演会 (予定) ①糖尿病における動脈 硬化促進のメカニズム ②糖尿病大血管障害予 防戦略— DPP4 阻害薬 に対する期待—	順天堂大学院 代謝内分泌内科学 三田智也先生 杏林大学大学院 医学研究科 糖尿病内分泌代謝内科 准教授 犬飼浩一先生	小野薬品 (西多摩医師 会後援)
12. 7 (金)	19:30 ～ 21:00	青梅市立 総合病院 南棟 3 階講堂	(費用負担なし)	1	44, 59	糖尿病患者における大 血管障害予防～メタボ サルタンを用いた最強 戦略の意義～	杏林大学大学院 医学研究科 糖尿病内分泌代謝内科 准教授 犬飼浩一先生	アステラス 西多摩医師会
12. 8 (土)	14:00 ～ 17:00	パレスホテル 立川				多摩医学会研究発表会		

専門医に学ぶ 第94回

問題

【症 例】 66歳 女性

【主 訴】 左眼かすみ

【既往歴】 右乳癌 (T2 N0 M0 stage II A) H21.Bt+SLNB 術後、糖尿病、非定型抗酸菌症

【現病歴】 平成13年より肺癌検診で異常陰影が見つかり、以降肺炎治療中であった。平成21年右乳癌が発見され、胸筋温存乳房切除施行されている。平成22年より非定型抗酸菌症でエタンブトールなど服用のため、当科定期通院となった。また、転移の有無については今年5月にPET施行したが、肺に集積像を認める以外に異常所見は認めなかった。肺集積像については定期検査で腫瘍マーカーの軽度上昇を認めるものの、経過とともに徐々に低下しており非定型抗酸菌症の影響によるものと考えられた。平成24年7月より左眼左上方かすみ自覚し8月6日当科受診した。

【腫瘍マーカー】 H21.4.9 CEA:6.4 ng/ml (↑)、CA19-9 2.0 以下 U/ml、CA15-3:16.10 U/ml

【眼科的所見】 右眼視力0.7 (1.2) 左眼視力0.5 (1.0) 前眼部・隅角に異常所見はなく、両眼軽度白内障を認めるのみだが、眼底所見では左眼視神経乳頭下耳側に黄白色の隆起性病変を認めた。

【眼底写真】

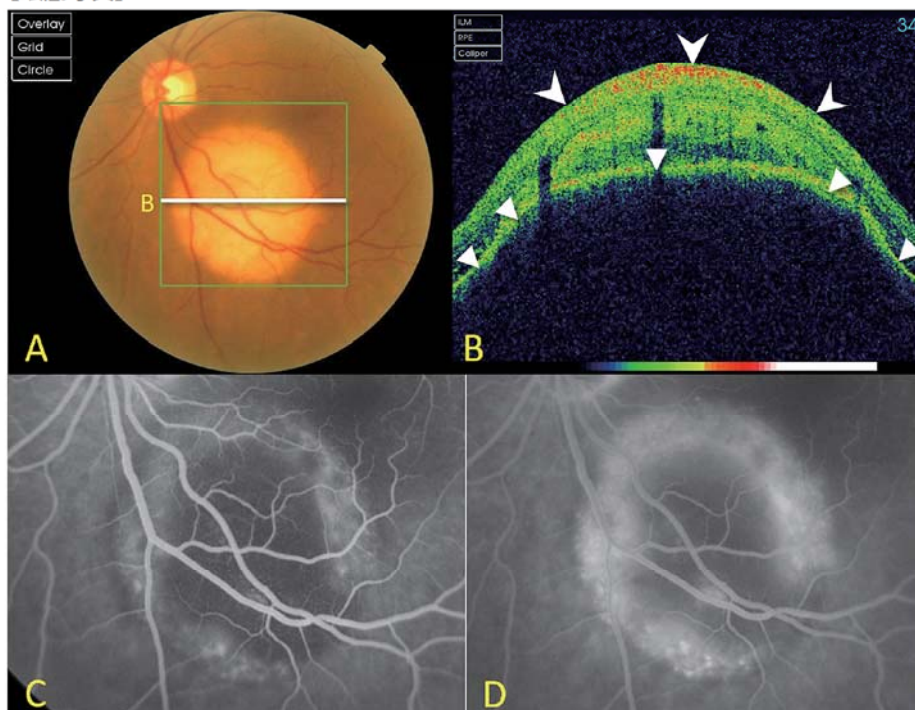


図1. 左眼眼底写真 (A. 8/6 眼底、B. 8/6 光干渉断層計 [OCT]、C. 8/15 蛍光造影早期、D. 蛍光造影後期)

A. 左眼視神経乳頭下耳側に 2.5 乳頭径大の黄白色の隆起性病変を認めた。

B. OCT 所見 黄白色病変の中央部水平断面で脈絡膜が隆起しており、病変部の網膜が肥厚している。(▲は脈絡膜を示し、台地状に隆起している。▶で示す病変の網膜は肥厚している)

C、D. 蛍光眼底造影では隆起性病変の周辺部は早期より過蛍光を示し、後期には顆粒状過蛍光と蛍光漏出が目立つが、中央部は後期まで低蛍光を示した。

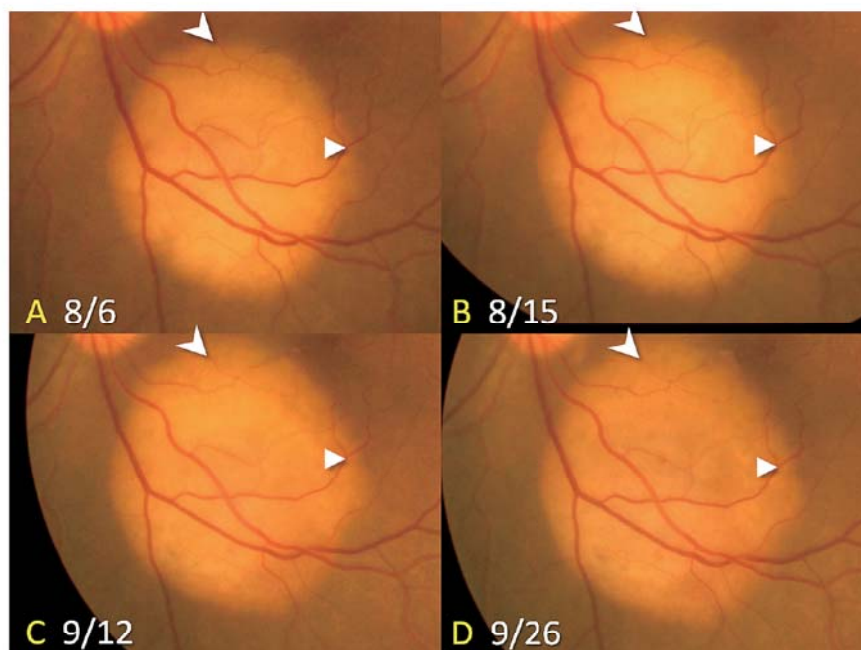


図 2. 眼底写真による腫瘍の経過

経過とともに徐々に病変が耳側、中心窩に向けて拡大している。(▶: 血管交叉部、▶: 分岐部に注目するとわかりやすい。)

【臨床経過】 徐々に左上方かすみ拡大しており、9月26日左眼視力は0.8と低下した。眼底所見でも左眼の隆起性病変が拡大し、黄斑部に滲出性網膜剥離がかかった。

【問 題】

予想される疾患は何でしょうか？

解答と解説

公立福生病院 眼科医長 津村 豊明



【解答】 左眼 転移性脈絡膜腫瘍の疑い

【解説】 転移性脈絡膜腫瘍は、眼内腫瘍で最も頻度が高く、悪性腫瘍患者の平均生存期間の延長により遭遇する機会は増加してきている。原発巣としては、男性の肺癌、女性の乳癌を合わせると約8割に及ぶ。乳癌術後眼転移は0.2%と報告されている。また血行性転移によるため、大動脈から直接総頸動脈へ流れる左眼の方が多いとされる。眼底では後極部から中間周辺部までに黄白色で扁平な隆起性病変として認めることが多く、腫瘍周囲の滲出性網膜剥離黄斑部に及ぶとかすみや視力低下を来す。鑑別としては脈絡膜母斑、脈絡膜血管腫、脈絡膜骨腫、眼内悪性リンパ腫、後部強膜炎、Vogt-小柳-原田病などが挙げられ、眼底所見以外に蛍光眼底造影やCT、MRI所見に加え、光干渉断層計(OCT)所見も重要となる。治療としては放射線治療や光凝固、冷凍凝固等が行われてきた。また、最近ではベバシズマブの硝子体注射の有用性が報告されている。

本症例では、眼底所見から転移性脈絡膜腫瘍が疑われる。PET、血液学的には今回のエピソードと連動せず判断に迷い、化学療法の適応については、他科と連携し検討中である。ただし、腫瘍は1ヶ月で急速に拡大しており、視力低下を来しているため治療的診断として放射線治療を開始する予定である。治療に当たっては白内障や放射線網膜症などの合併症について留意する必要がある。

理事会報告

★ Information

9月定例理事会**平成24年9月25日(火)****西多摩医師会館**

〔出席者：横田・鹿児島・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・近藤・岩尾・小林・西成田・朱膳寺・安部・奥村・大堀・中野〕

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会**

1. 都医からの伝達事項

1. 平成24年度医学生、研修医等をサポートするための会の開催について
多様な医師のモデル像を示し、結婚・出産・育児などのライフサイクルの中で、様々な情報提供・交換を行うことを目的とした講習会
2. 東京都におけるがん検診精度管理評価事業の実施について
3. キッズホスピタルランド2012 in 東京ソラマチについて
10月7日(日)開催予定
4. 平成24年度在宅難病患者訪問診療事業地区医師会別実施報告(第1四半期分)について
5. 東京都災害医療協議会報告「災害医療体制のあり方について」
6. 救急委員会のアンケートについて

2. 地区医師会からの報告

1. 中央ブロック(当番：小石川医師会)
2. 城東ブロック(当番：江東区医師会)
 - ① 第6回江東区医師会医学会について
10月14日(土)開催予定
3. 城西ブロック(当番：目黒区医師会)
 - ① 中野区医師会乳がん区民公開講座について(中野区医師会)
10月6日(土)開催予定
4. 城南ブロック(当番：蒲田医師会)
5. 城北ブロック(当番：練馬区医師会)
 - ① 第17回板橋区医師会医学会について(板橋区医師会)
9月29日～9月30日開催予定
 - ② なりすまし医師問題について(板橋区医師会)
6. 多摩ブロック(当番：西多摩医師会)
 - ① 救急医療情報について(八王子市医師会)

7. 大学ブロック（当番：東京医科歯科大学医師会）

3. 出席者による意見交換

(2) 各部報告

地域医療部 9月14日 「西多摩認知症医療連携委員会」設立準備会を開催
この委員会を理事会諮問の委員会とする。

公衆衛生部 9月18日 在宅医療連絡会名簿作成

福祉部 12月4日 クリスマス会 フォレストイン昭和館で開催予定

(3) 地区会報告（各地区理事）

青梅市

福生市 10月8日健康祭りに参加の予定

羽村市

あきる野市 ポリオについて話し合い

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告

鹿児島副会長 学校医委員会 学校医のスキルアップを目指す

野本理事 9月12日 糖尿病医療連携協議会開催

10月14日 青梅市立総合病院で開催予定

9月18日 脳卒中医療連携検討会開催

【2】報告承認事項

- (1) 入・退会会員、会員変更について ——— 承認 ———
- (2) 大気汚染障害者認定審査会委員の推薦について（依頼） ——— 承認 ———
松原弘明先生を推薦することが承認された
- (3) 「設計・工事監理業務委託契約書」の締結について ——— 承認 ———
契約業を検討し、実施検討の日付（誤植による）を訂正して契約することが承認された

【3】協議事項

- (1) 法人制度移行に係る諸規程（案）について ——— 可決承認 ———
社員総会規則（案）・会費細則（案）
定款施行細則（案）・会務運営規程（案）・医道審議会に関する規則（案）
役員等の報酬及び費用に関する規程（案）・個人情報保護規程（案）
- (2) 「平成24年度摂食・嚥下機能支援基盤整備事業摂食・嚥下機能支援協議会」の開催に
ついて（依頼） ——— 可決承認 ———

- (3) 平成 24 年度西多摩地区歯科保健推進基盤整備検討会の開催について（依頼）
 —— 可決承認 ——
- (4) 会館建設予定地の一時使用依頼について
 —— 可決承認 ——

【4】その他

- (1) 平成 24 年度多摩地区医師会懇話会への参加者確認

11 月 10 日の多摩地区医師会懇話会へ 11 名の役員が参加することが確認された。

10月定例理事会

平成24年10月9日(火)

西多摩医師会館

〔出席者：横田・鹿児島・野本・蓼沼・江本・川口・宮城・近藤・小林・西成田・朱膳寺・安部・奥村・大堀・中野〕

【1】報告事項

- (1) 各部報告

保険部 10 月 16 日（火）開催予定の「市町村国保主務担当者懇談会」について

病院部 25 年 2 月 25 日（金）ゆとろぎにて 病院フォーラム

「市民の側から見た災害対策」を開催予定

- (2) 地区会報告「(各地区理事)

青梅市

福生市

羽村市

あきる野市

瑞穂町

日の出町

- (3) その他報告

東京都医師会第 13 回地域福祉委員会（9 月 27 日 進藤 晃 委員）

議題 「超高齢社会における東京の地域包括ケアの在り方について」

—2015 年を見据えて—

講演 「地域包括支援センターの在り方を考える」

～国立市の在宅療養施策の課題～

東京都医師会第 12 回勤務医委員会（10 月 1 日 進藤 晃 委員）

勤務医負担軽減の具体策について

—「勤務医の労働環境の問題点と改善策」及び「患者対応の問題点と対応策について」のアンケート結果も踏まえて

多摩医学会 12月8日(土)立川パレスホテルにて開催予定
 東京都医師会雑誌に抄録を掲載していたが、今後数年で掲載中止となる予定

【2】報告承認事項

- (1) 入・退会会員、会員変更について ——— 承認 ———

【3】協議事項

- (1) 国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦について ——— 可決承認 ———
 高木 直先生が退任予定のため、新しい委員の推薦依頼があり、
 安部 学先生を推薦候補とする提案がなされ承認された
- (2) 「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」の締結について ——— 可決承認 ———
 「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」のひな形が示され、協議の上締結につ
 いて承認可決された
- (3) 「在宅医療機関名簿」の配布について ——— 可決承認 ———
 在宅医療検討会において策定された「在宅医療機関名簿」について、会員及び市町村の
 高齢介護課への配布について上程され、協議の上、可決承認された

【4】その他

- (1) 理事会(11月13日)への東京都医師会役員の来訪について
 11月13日(火)東京都医師会役員が西多摩医師会を訪問し、意見交換会を予定
- (2) 11月17日の「市民健康講座」における休日診療・夜間診療等の情報配布について
 野本理事より標記の提案があり協議された
- ① 休日診療等の情報を一覧表にして配布する
- ② それぞれの地区の正確な情報を野本理事に集約し、情報の正確性を確保する
 以上が決定された

会員通知

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------|
| ○会報 | ○産業医研修会(11/10 日本橋医師会) |
| ○宿日直表(青梅・福生・阿伎留) | ○ " (2/9 帝京大学医師会) |
| ○学術講演会(10/16, 18, 29) | ○ " (12/8 日本医師会) |
| ○第12回地域連携がん診療セミナー(10/25) | ○4種混合ワクチン導入に関するQ&A |
| ○第8回在宅医療連絡会(10/22) | ○平成24年度産業保健実践講習会 |
| ○青梅市立総合病院だより | ○医師法第20条ただし書の適切な運用につ
いて |
| ○胃がん検診X線撮影従事者講習会 | ○平成24年度保険医療事務講習会開催要項 |
| ○子宮がん検診読影従事者講習会 | |
| ○日本医師会市民公開フォーラム | |
| ○東京都医師会平成24年度・第3回学校保
健(学校医)研修会開催要項 | |

医師会の動き

医療機関数	214	病院	30
		医院・診療所	184
会員数	552	A会員	204
		B会員	348

会議

10月9日	定例理事会
12日	在宅難病調整委員会
16日	市町村国保主務担当者との懇談会
22日	第8回在宅医療連絡会
22日	会報編集委員会
23日	在宅難病訪問診療（青梅2）
23日	定例理事会

講演会・その他

10月4日	学術講演会 演題：心房細動と抗血栓療法 Up to Date 講師：東京女子医科大学病院 循環器内科 講師 村崎かがり 先生
9日	保険整備委員会
10日	学術講演会 演題：明日から役に立つ予防接種の新しい知識～不活化ポリオ、4種混合、インフルエンザ、同時接種について～ 講師：(医社) 崎山小児科 院長 崎山 弘 先生
14日	西多摩糖尿病セミナー ①糖尿病とはどのような病気かを上手に説明するコツ 東京医科歯科大学八王子医療センター 植木彬夫 先生 ②CDE看護師からの患者コミュニケーションについて かたやま内科クリニック 看護師 石黒清美 先生 ③糖尿病食の解説 NPO法人西東京臨床糖尿病研究会管理栄養士 土屋倫子 先生 ④運動療法ワンポイントアドバイス 立川相互ふれあいクリニック

健康運動指導士

小池日登美 先生

⑤糖尿病治療薬の上手な使い方と患者説明

柳田医院 柳田和弘先生

青梅市立総合病院

関口芳弘 先生

⑥コントロール不良者への説明

高村内科クリニック

高村 宏 先生

16日 学術講演会

演題：高齢者認知症疾患の治療戦略

～新薬の使用経験を踏まえて～

講師：東京医科大学八王寺医療センター 老年病科

科長 金谷 潔史 先生

18日 法律相談

18日 学術講演会

演題：認知症疾患についての最近の知見

講師：東京女子医科大学附属

成人医学センター神経内科

講師 村松 美由起 先生

25日 糖尿病教室（管理栄養士による集団教室）

29日 学術講演会

演題：乳癌診療－最近の話題－

講師：日本大学医学部附属

板橋病院 乳腺内分泌外科

教授 天野 定雄 先生

役員出張

10月5日 多摩医学会役員会

13日 平成24年度第2回東京都脳卒中地域連携パス合同会議

17日 東京都がん検診センター連絡協議会

19日 東京都医師会地区医師会長連絡協議会

多摩ブロック医師会長連絡協議会

29日 生活保護法指導医療機関調査立ち会い

【入会会員】

氏名 田尾 進

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成15年3月卒

氏名 小川 雅子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 横浜市立大学 平成10年3月卒

氏名 古浦 賢二

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 鳥取大学 平成18年3月卒

氏名 榛沢 理

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成22年3月卒

氏名 細谷 明德

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 三重大学 平成19年3月卒

氏名 西澤 麻依子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成19年3月卒

氏名 中野 雄二郎

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成21年3月卒

氏名 上田 実佳子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 香川大学 平成22年3月卒

氏名 石田 信也

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 日本医科大学 平成19年3月卒

氏名 江渡 加代子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 弘前大学 平成14年3月卒

氏名 佐々木 広和

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学

平成22年3月卒

氏名 稲垣 雅子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 日本大学 平成22年3月卒

氏名 品川 貴秀

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京大学 平成21年3月卒

氏名 塩田 幹夫

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 金沢大学 平成18年3月卒

氏名 松村 恵津子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 藤田保健衛生大学
平成18年3月卒

氏名 米田 康太

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京大学 平成21年3月卒

氏名 雨宮 貴子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京慈恵会医科大学
平成21年3月卒

氏名 白木 良治

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 鹿児島大学 平成22年3月卒

氏名 村山 喬之

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 埼玉医科大学 平成21年3月卒

氏名 有泉 陽介

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成14年3月卒

氏名 初山 直子

勤務先 青梅市立総合病院

出身校大学 東京医科歯科大学
平成20年3月卒

(16)

氏名 佐藤 真優子
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 東京医科歯科大学
平成21年3月卒

氏名 濱 耕一郎
勤務先 公立福生病院
出身校大学 東京医科大学 平成7年3月卒

氏名 中林 巖
勤務先 公立福生病院
出身校大学 防衛医科大学校
平成2年3月卒

氏名 中村 充貴
勤務先 公立福生病院
出身校大学 大分医科大学 平成11年3月卒

氏名 野村 まなみ
勤務先 公立福生病院
出身校大学 富山医科薬科大学
平成4年3月卒

氏名 宮澤 祥一
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成19年3月卒

【退会会員】

氏名 古賀 祐子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 塩崎 純子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 毛利 万里子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 矢澤 克昭
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 金地 嘉久
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 細井 広子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 秋山 弘樹
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 廣瀬 千紘
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 三宅 敦子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 宮本 悠希
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 藤沢 一
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 竹中 健智
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 平岡 大輔
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 土田 泰昭
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 佐々木 研
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 松本 連平
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 鈴木 英嗣
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 広藤 亜樹子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 渡辺 洋志
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 関川 佳奈
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 桑波田 悠子
勤務先 青梅市立総合病院

氏名 角 卓郎
勤務先 青梅市立総合病院

【変更】
すみれ小児クリニック
(青梅→福生へ移転・氏名)
(新) 高橋 有美 福生市本町82-3
(旧) 武田 有美 青梅市新町4-12-20

氏名 田島 吾郎
勤務先 青梅市立総合病院

表紙のことば

氏名 阿部 英雄
勤務先 公立阿伎留医療センター



『いちょう並木』
今年もみごとに色づきま
した(昭和公園)
真鍋 勉

氏名 太田 壮一郎
勤務先 公立阿伎留医療センター



お知らせ

事務局より **お 知 ら せ**

平成24年12月(11月診療分)の

保険請求書類提出

12月7日(金)

— 正午迄です —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克巳先生による法律相談を
毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 11月は15日(木)
12月は20日(木)
- ◎場 所 西多摩医師会館和室
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

あ と が き



日本人ノーベル医学・生理学賞、受賞の嬉しいニュースが飛び込んできた。iPS細胞は、再生医療の分野に幅広く応用することが可能で、今まで困難とされている病気の治療や、病因解明の新たなアプローチとなることが期待されている。一方、その応用には生命倫理が付き纏い、解決しなければならない難しい問題も多く抱えている。

受賞が決まった直後の山中伸哉教授の会見は、このノーベル賞は個人一人の賞ではなく、

iPS細胞の開発に携わった研究スタッフ全員で頂いた賞であると控えめな言葉であった。また研究環境を提供してくれた施設、団体、そして資金、研究費を提供してくれた機関や国にも感謝を述べられ、誠実さを感じさせる会見は印象的だった。

好きな言葉は、夢に向かって努力する“Vision & Hard Work”だそうだ。iPS細胞の研究は、病気に悩む患者に早く恩恵が届くように、スピード感を持って、一步一步段階を踏んだ地道な研究を期待する。

馬場 眞澄

社団法人 西多摩医師会

平成24年11月1日発行

会長 横田卓史 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23) 2171・FAX 0428(24) 1615

会報編集委員会 奥村 充
 近藤 之暢 鹿兒島武志 鈴木 寿和 馬場 眞澄 菊池 孝
 土田 大介 渡邊 哲哉 松崎 潤 湯田 淳 進藤 幸雄
 松本 学

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22) 3047・FAX 0428(22) 9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……
(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する
F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
 TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659